

子ども達による広報紙

8月号から市内小学校(8校)・中学校(3校)・高校(2校)による子ども達の手づくりによる広報紙を特集しています。テーマ、写真、取材、編集、構成までを一貫して行っていただきました。

今回の特集記事では、最初に禾生第一小学校、次に桂高校の特色ある活動を内部からの視点で紹介させていただきます。さて、来月号はどこどの学校かな？

禾生第一小学校は、明治六年「郡立谷村学校分校」として開校しました。以来、昇小学校、禾生第一尋常小学校、禾生尋常高等小学校、禾生国民学校、禾生小学校と名前を変え、昭和二十五年四月一日に禾生第一小学校と改称し、第二小学校が分離しました。平成十五年度は、児童数三百五十九名と教職員二十二名で毎日活気ある学校生活を送っています。

本年度の学校教育目標は、次の通りです。

学校教育目標

一、基本目標

自主創造の精神に満ちた、健康でたくましい児童の育成

二、具体目標

○健康で明朗な子

○人の痛みが分かり、思いやりのある子

○進んで学び、感動のできる子

○すまわりを守り、責任を果たす子

○どんな困難にも打ち勝つ子

学校の特色

○ノーチャイム運動

子どもたちは、時計を見て、行動できます

○男女混合名簿の実施

男も女も関係なく五十音順に名簿を作成し、使用しています

文部科学省「学力向上フロンティア」研究指定校

本校では、平成十四年度から十六年度まで文部科学省の指定を受け「学力向上フロンティア」事業を実施しています。

研究テーマは、確かな学力を身に付け主体的、創造的にいきる児童の育成——基礎基本の定着を図り、確かな学力を育む少人数学習——(算数科をとおして)です。

特に、今年度は研究指定二年目ということで、十一月二十六日に中間発表会を実施しました。

当日は、県下の学校から二百名ほどの先生方が授業を見に来られ三年生と五年生の教室は人であふれるほどでした。子どもたちはというと、大勢の先生方を前にしながらも、

堂々と自分の意見を発表していました。その姿はとても頼もしく、立派に見えました。来年度は、三年目というところで、いよいよ本公開を迎えます。今後とも、本校に対しまして、温かいご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。



中間発表会の様子



禾生 第一小学校



児童会・学校行事から

秋の出店集会

十一月一日(土)の一、四校時を利用して秋の出店集会を実施しました。

縦割り班ごとに、みんなに楽しんでもらう出店を計画、準備し、当日の運営をしました。

出店の内容

○作って遊ぶ店
(メンコを作って勝負・紙飛行機を作って飛ばすなど)

○その場で遊ぶ店
(クイズの店・ストラックアウト・ボウリング・缶積みなど)

○見て楽しむ店

(劇・手品ショー・ものまねショーなど)

各班ともアイデアをふりしぼり、たいへん工夫されたものばかりでした。

当日は、PTA主催の文化展も同時に開催され、地域のお年寄りや保護者などたくさんの方の参観があり、教室を使用した出店はたくさんの方にぎわいました。

四月 一年生を迎える集い

ぴかぴかの一年生が仲間入り。
学校での生活の仕方を六年生が寸劇でわかりやすく教えてくれました。



1年生を迎える集い

六月 花いっぱい運動

夏休みの地域での水やり当番も立派に果たしました。
大きく育ち、地域のあちらこちら、花でいっぱいになりました。



花いっぱい

七月 夏の集会

縦割り班ごとに、いろいろなゲームを楽しみました。
学校生活って楽しいな!



夏の集会

九月 運動会

雨にたたられたけど、熱気だけは誰にも負けませんでした。
赤白、最後の最後で大逆転。



運動会

十月 図書集会

「ひびきの会」のみなさんのすばらしい朗読に驚かされました。「葉っぱのフレディー」に感動しました。



図書集会

十一月 お年寄りとの交流会

保健委員会活動で児童と地域のお年寄りが仲良しに!
昔の遊びも教えてもらいました。



お年寄りとの交流会

十一月 体育集会

低学年種目と高学年種目、工夫をこらした競技に汗を流しました。
おたまにピンポン玉を乗せて、最後に靴とばし。笑顔の中にも真剣さがあふれていました。



体育集会

今年度もあとわずかとなりました。四月から、たくさんの行事を実施してきました。忙しい中にも、学校生活に変化と潤いを与える行事ばかりでした。

これからも児童と教職員、そして、保護者や地域の皆様方と手を携え、よりよい学校となりますよう頑張っています。今後とも御協力よろしく願います。

禾一小ホームページはこちら
<http://www.kai.ed.jp/kasei-1/>
E-mail:kasei1@school.tsuru.ac.jp

校訓『己に克て』桂高は今・・・

桂高等学校生徒会

生徒会活動が活発です。特に部活動は県内外で大活躍です。
その活躍の一部を紹介します。

1 ラグビー部日川を破り、全国切符（25年ぶりに強豪日川を破りました）



県大会優勝のラグビー部の面々



スタンドと選手が一体となって
勝利を勝ち取りました

2 ウェイトリフティング部今年も全国入賞（長崎インターハイ7位・静岡国体5位）



全国大会（IH・国体）で入賞した渡辺康宏君



同窓会・PTAの皆様のご協力をいただき2年前完成
したトレーニングルームで練習しています。ラグビー
部もこのおかげで大幅筋力アップ！！

3 放送部大活躍！！

NHK全国高校放送コンテスト・
全国高校芸術文化祭参加は常連。
地域の取材・学校行事の取材・各
部活動の取材・月曜朝の「桂高
ニュース」8：35～約15分間と学校
生活にはなくてはならない存在で
です。ラグビー部花園出場で今年
はさらに大忙し！！



学校行事での司会はおてのもの

4 吹奏楽部1年ぶりの関東大会へ

西関東吹奏楽コンクールと西関東マーチングコンクールに参加しともに銀賞を獲得しました



文化局地域交流会でもお年寄りの方々の前ですばらしい演奏を披露してくれました

6 箏曲部は山梨県高等学校芸術文化祭において念願の最優秀賞受賞



毎日地道に練習しています



難しい曲へどんどんチャレンジします



7 陸上競技部・卓球部・弓道部も関東大会や関東駅伝に出場し、活躍中



陸上競技部



弓道部



卓球部

生徒会活動の一部を紹介します

1 大いに盛り上がる桂高祭(学園祭) 数多くのイベントであふれています



今年も巨大なのれんが
お目見え



開催宣言



クラス発表



体育祭

2 地域のお年寄りとともに過ごす文化局地域交流会も16回を数えました



すばらしい歌声を聞かせていただきました



休憩時間にはお年寄りの方からの貴重な話をうかがうことができました



3 花いっぱい運動・校外清掃など地域の美化活動にも協力



年間9回行っている校外清掃



お世話になっている駅を花でいっぱいに



駅の清掃も行います

4 スポーツ・芸術の輪を広げよう講習会 (多くの中学生が参加しています。年間8回行われます。)



5 都留文科大学と連携した取り組みを数多く行っています



都留まちづくりネットワークの皆さんとの交流

夢を叶えてくれる進路指導

1 文理科スタート

理数科・英語科両方の長所を取り入れ大学進学に対応
英語科の伝統を受け継ぎ、充実した英語指導と国際理解教育が充実

2 普通科にも各自の進路に対応したコース選択

- ◎文系・理系の大学進学者に対応したA Cコース
- ◎理系・看護系の進学希望者に対応したA看コース
- ◎おもに私立文系の進学希望者・就職希望者に対応したコース

3 課外、夏季・春季学習会、模擬試験、小論文対策指導、面接指導などで進路にあわせた学習をさらに充実



都留文科大学をお借りしての夏季学習会



みんな真剣に取り組んでいます



卒業生も指導に駆けつけてくれます

4 進学実績も年々レベルアップ

平成15年度大学合格者241名（国公立大学・有名私立大学へも数多く進学しました。）

5 大学の先生方からの貴重な授業を受講させていただきました（年間数多くの機会に恵まれています）



6「世界が君の舞台になる」姉妹校交流

◎ヘンダーソンビル市のビーチ高校での生活はすべてが新鮮でとても楽しかったです。最初慣れなくてあまり話せなかったこともあったけど、ホストファミリーや周りの人のおかげですぐにとけこめるようになりました。（長期留学生 渡辺杏里さん）

◎全く知らなかった土地で約5カ月生活をしたことは私に大きな「自信」を与えてくれました。（長期留学生 水上康彦くん）

7 ホームページも見てね ホームページアドレス <http://www.kai.ed.jp/katsura/>

次は科学部特集です！

桂高校科学部の活動

科学部は山梨県高等学校芸術文化祭自然科学発表部門で最優秀賞

科学部は、ここ2年ほど「宝鉦山の研究」と「とびひの研究」という2つのテーマに取り組んでいます。部員は10名ほどですが、2チームに分かれて、和やかな雰囲気の中にも学究的な厳しさをもって活動しています。その甲斐あって、11月の山梨県高等学校芸術文化祭自然科学発表部門で、最優秀賞をいただくことができました。

以下に、「宝鉦山の研究」の概要を紹介させていただきます。

-----宝鉦山の研究-----

私達の住む都留市には、今は閉鎖された鉦山―宝鉦山―がある。宝鉦山は明治末期から昭和にかけて「三菱金属のドル箱」と呼ばれる程、大規模な鉦山だったという。そのころは、鉦山周辺に鉦夫のための娯楽施設があり、都留市は現在の市街地より、鉦山周辺地域の方が栄えていたらしい。しかし、昭和45年に汚水事件が鉦山付近の大幡川流域に発生し、また鉦石が少なくなり、まもなく80年もの歴史をもつ宝鉦山は閉山した。

現在、鉦山から流れ出す水は回収し処理されている。しかし、鉦山下流の本社川河床の岩石は、河川水により赤褐色に変色して白い沈殿物が付着している。このことから鉦山の廃水の影響は皆無とはいえず、現在も鉦山の廃水の状況、鉦山が周辺地域へ及ぼす影響を調べる必要があると感じて研究を始めた。

鉦山周辺の水質検査として、水温、水素イオン濃度、鉄イオン濃度、銅イオン濃度、亜鉛イオン濃度などを測定した。その結果、鉦山下部にある砂防ダムで汚染水を回収しているけれど、さらに深い地下にしみこんだ水が下流の本社川にしみ出していることが確認された。これがすぐに重大な汚染に結びつくとは考えられないが、今後も継続的な調査を続けていく必要がある。



鉦山下部にある砂防ダム



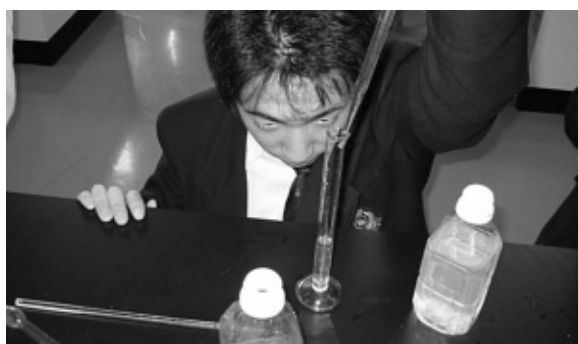
坑道入口



鉦山付近を調査中



本社川の石と白い沈殿



水の分析



データのまとめ